

二宮尊徳を学ぼう

烏山にもつながりのある、二宮金次郎として知られる二宮尊徳の考え方や実践方策について学んだ、「二宮尊徳を学ぼう」についてご報告します。

日 時	①令和元年10月27日(土) 午前10時～11時30分 ②令和元年11月2日(土) 午後1時30分～3時 ③令和元年11月30日(土) 午前8時30分～午後5時 ④令和元年12月14日(土) 午前9時30分～11時
場 所	①②烏山公民館 104会議室、③真岡市方面、 ④烏山公民館 103会議室
講 師	①②④那須烏山市報徳会 会長 大金 正 氏、 ③真岡市報徳会 澁井 休耕 氏
参 加 者	①11名、②11名、③9名、④12名
費 用	①②④無料、③昼食代1,320円



【講座の内容】

那須烏山市報徳会の会長である大金正さんを講師に迎え、全4回の講座を実施しました。

第1回は、金次郎の少年時代から始まり、若き日の逸話や伝承を基にした人物像、業績についての話を中心でした。

第2回は、天保の大飢饉の際に二宮尊徳が行ったこと、彼に習おうとした「烏山仕法」の失敗についての話を解説いただきました。

第3回は、座学で学んだ知識をさらに深めるために、真岡市の二宮尊徳資料館をはじめ、尊徳にゆかりのある石碑や建物等を見学しました。現地では、真岡市報徳会の澁井休耕さんに解説いただきました。

参加者の皆さんは、渋井さんの話を聞きながら、興味深そうに二宮尊徳のゆかりの地を巡ることができました。



第4回は、前回までの振り返りに始まり、生涯の業績とそれを支えた「報徳」の理念についてお話しいただき、最後の講座を締めくくりました。

【まとめ】

参加者の皆さんからは、「二宮尊徳について深く学ぶことができて良かった。」との感想を多くいただきました。もっと学びを深めたいと、報徳会へ入会される方もいました。

また、座学で事前に学んだあとに、現地研修でゆかりの地を巡り、最後に振り返りの時間を設けることで、より実りある講座になったと思います。

